

いざという時に行動するため

9月9日は「救急の日」、9月3日(日)～9日(土)は「救急医療週間」です。命を救うための対処法を理解し、いざという時に行動できるようになりましょう。



救急車の到着までに一人一人ができることを

命を救うために 迅速な応急手当を

突然目の前で人が倒れた時、皆さんは何かできますか。

応急手当が何もされなかった場合、呼吸停止から10分で生存率は10パーセント以下になってしまいます。

本市では、救急車の到着までに平均約10分、震災や大規模災害の発生時はさらに時間がかかることが見込まれます。傷病者が命の危機に直面した時、現場に居合わせた人がどれだけ早く応急手当を行えるかが、傷病者の救命や社会復帰も含めた今後の人生を大きく左右します。

心肺蘇生法を 身に付けましょう

市では、いざという時に備えて、市民の皆さんに心肺蘇生法やAEDの操作方法などを身に付けてもらうため、応急手当に関する各種講習会を開催しています。

救急キャンペーン

市では、市民の皆さんに救急隊の活動や応急手当の重要性を身近に感じてもらうために「救急キャンペーン」を開催します。

AEDの使用や心肺蘇生法の体験、救急車・救急資機材・ポスターの展示などを行います。

日時=9月9日(土) 午前10時～午後2時

会場=イオンモール成田1階和み広場



訓練用人形を使って体験

令和4年の救急車の出動件数は7,843件で、このうち救急搬送した6,350人の約4割は入院の必要のない軽症者でした。緊急性がない状況で救急車が必要とされた場合、本当に必要とする傷病者の元へ速くの消防署から救急車が出動することになります。

救急車の適正利用にご協力を

開催日程は市ホームページ(<https://www.city.narita.chiba.jp/anshn/index0353.html>)や広報なりたでお知らせします。

その結果、到着が遅れ、救えるはずの命が救えなくなる恐れがあります。緊急性がなく、自分で病院に行ける場合は自家用車や公共交通機関などを利用してください。病气やけがの状況から、急いで病院へ行った方が良いと思った時には、迷わず119番通報をしてください。

その際は、慌てず、落ち着いてはつきりと次のことを伝えてください。

通報する時に伝える内容

- 救急車が向かう住所(市区町村名から)
 - 年齢・性別
 - けがや病气、意識の有無
 - 持病・かかりつけ医療機関
 - 通報者の氏名・電話番号
- ※くわしくは警防課(☎20・1592)へ。